

授業科目名 科目コード	日本語 I -1 (Japanese I -1) 2011-0-11-018					担当教員	村越 真紀 (ムラコシ マキ)		
科目区分	教養科目 (留学生 科目)	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	1年次	開講期	前
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
4技能(読む、書く、聞く、話す)を伸ばすことを目指す。 日本語能力試験(JLPT)N2に合格することを目指す。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
状況によって、試験のやり方が変わります。試験の前に説明します。 毎回、授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストをします。宿題になることもあります。 授業の前：次の授業で勉強するテキストの範囲を予習しておいてください。 授業の後：授業の内容を確認してください。 授業はすべて日本語で行います。 教室では、自分の国の言葉や英語を使わず、日本語で話してください。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
できるだけ、日本事情1も履修してください。									
⑤ テキスト(教科書)									
伊能裕晃他(2011)『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク 佐々木瑞枝他(2006年)『大学で学ぶための日本語ライティング』The Japan Times									
⑥ 参考図書・指定図書									
友松悦子他(2010年)『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク									
⑦ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安									
(i) 日本語能力試験(JLPT)N2レベルの語彙について、授業でやった範囲内の問題で90%以上得点できた。 (ii) 日常の事柄や自分のことに関するテーマで、準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表できた。 (iii) 日常の事柄や自分のことに関するテーマで、適切な構成で、ネイティブチェックが無くてもおおよそ意味の通る800~1000字の文章が書けた。									

⑧ ループリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 日本語能力試験 (JLPT) N2 レベルの語彙の習得。	授業でやった範囲を超えて、N2 レベルの語彙の問題で 80% 以上得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙の問題で、90% 以上得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙の問題で、75～89% 得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙の問題で、60～74% 得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙の問題で、60% 以上得点できなかった。
(ii) 日常の事柄や自分のことについて、日本語で伝えられる。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表でき、質問にも答えられた。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表できた。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに発表できたが、流暢ではなかった。	原稿を見ながらであれば、テーマに関して準備した内容を流暢に発表できた。	原稿を見ながらであっても、テーマに関して準備した内容を流暢に発表できなかった。
(iii) 日常の事柄や自分のことについて、まとまりのある文章が書ける。	テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くてもおおよそ意味の通る 1000 字以上の文章が書けた。	テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くてもおおよそ意味の通る 800～1000 字の文章が書けた。	テーマに関して、1 回のネイティブチェックでおよそ意味の通る 800～1000 字の文章が書けた。	テーマに関して、1 回のネイティブチェックでおよそ意味の通る 600～800 字の文章が書けた。	テーマに関して、1 回のネイティブチェックではおよそ意味の通る 600 字以上の文章が書けなかった。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	45%	10%	15%		15%	15%		100%
(i) 日本語能力試験 (JLPT) N2 レベルの語彙の習得。	45%	10%				5%		60%
(ii) 日常の事柄や自分のことについて、日本語で伝えられる。					15%	5%		20%
(iii) 日常の事柄や自分のことについて、まとまりのある文章が書ける。			15%			5%		20%

フィードバックの方法	課題は添削して返します。小テストは採点して返します。
------------	----------------------------

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
積極的に授業に参加してください。 授業時間以外にも、自分で勉強してください。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	オリエンテーション、自己紹介、授業の注意点の説明、日本語入力の確認、メールの書き方1(基本フォーマット)	日本語で自己紹介ができるように準備しておく。 可能であれば、パソコンを持参する。	60分
2	語彙テキスト 第1部、第1章、第1課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。	120分
3	語彙テキスト 第1章、第2課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする	120分
4	語彙テキスト 第1章、第3課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする。	120分
5	語彙テキスト 第2章、第1課 ミニスピーチ1	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。	120分
6	語彙テキスト 第2章、第1課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする。	120分
7	語彙テキスト 第2章、第2課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする。	120分
8	語彙テキスト第2章、第3課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする。	120分

9	語彙テキスト第3章、	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする。	120分
10	語彙テキスト第4章、第1課 ミニスピーチ2	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。	120分
11	語彙テキスト第4章、第1課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする。	120分
12	語彙テキスト第4章、第2課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする。	120分
13	語彙テキスト第5章、第1課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする。	120分
14	語彙テキスト第5章、第2課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする。	120分
15	語彙テキスト第6章、第1課 ミニスピーチ3	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。	120分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性